

令和6年度 高校1年（特進） シラバス

□科 目	英語コミュニケーション I			
□授業時数	4時間／週			
□教 材	New Rays English Communication I (いっずな書店), New Rays English Communication I Workbook Advanced(いっずな書店) Clues to Reading 英文解釈の徹底演習 Standard(数研出版), ターゲット1900(旺文社), スタディサプリEnglish(リクルート)			
□学習到達 目標	◎ 4 技能 (Listening, Speaking, Reading, Writing) の習得を図る。 <Speaking> - 英語の複雑な問いに英語で答え、アウトプットを試みることができる。※主語・動詞のある文で答える。 - 外国人と積極的にコミュニケーションを図れる態度、語彙力を身につけることができる。 <Listening> - 生活習慣や興味関心事に関して、英語で受け答えができる。 - 外国人と積極的にコミュニケーションを図れる態度、語彙力を身につけ、自己表現をすることができる。 <Writing> - 生活習慣や興味関心事について、英語で表現ができる。 - 自己表現を可能にする適切な語彙を選び、外国人に適切な文章を書けることができる。 ※100-200語程度の英文で自分の意見を述べるることができる (英検 2 級レベル)。 <Reading> - 英語の長文から、情報を取得することができる。 - その取得した情報から、的確に英語でアウトプットができる。 ※400語程度の長文を読むことができる (英検 2 級レベル)			
□成績評価 基準	定期テスト・小テスト・提出物、および授業中の積極性を総合的に判断し評価する。			
□授業計画	月	単 元・項 目	内 容	備 考
	4	<i>New Rays English Communication I</i> Chapter 1 The Future Is Yours Chapter 2 The Power of Design <i>Clues to Reading</i> ①名詞(句)を説明するカタマリを見ぬく ②基本構造を見ぬく	◎ これからの生きる力 ◎ デザインの力 ○ 名詞(句)を後ろから説明する分詞句を見ぬこう！ ○ 名詞(句)を後ろから説明する節(S+V)を見ぬこう！ ○ 目的語のカタマリに注意して、文構造を見ぬこう！ ○ 前置詞のあとは、名詞(句・節)がくる！	※スタディサプリは論理・表現 I を参照すること。 錬成テスト① 基礎学力到達度テスト
	5	③挿入を見ぬく <i>New Rays English Communication I</i> Chapter 3 Plastic Is Everywhere Chapter 4 OriHime <i>Clues to Reading</i> ④同格の関係を見ぬく	○ 接続詞thatの直後の副詞句(節)の挿入を見ぬこう！ ○ 主語の直後に続く<S+V>の挿入を見ぬこう！ ◎ 問題解決の力 ◎ 癒やしの力 ○ 名詞(句)と名詞(句)が連続する場合は、「同格の関係」を考えよう！ ○ 名詞(句)とthat-節(=名詞節)が連続する場合は、「同格の関係」を考えよう！	定期テスト① 実力テスト①
	6	⑤並列関係を見ぬく ⑥itの用法を見ぬく(1)	○ and/but/orは、「同じ働きをする」語(句)と語(句)をつなぐ！ ○ and/but/orは、「同じ働きをする」節と節をつなぐ！ ○ あとから現れる句や節をさす形式主語のitを見ぬこう！ ○ あとから現れる句や節をさす形式目的語のitを見ぬこう！	
	7		1 学期の総復習	定期テスト②
	9	<i>New Rays English Communication I</i> Chapter 5 Satoko and Nada Chapter 6 The Voice of Children <i>Clues to Reading</i> ⑦itの用法を見ぬく(2)	◎ 対話の力 ◎ 表現の力 ○ <It is[was]+名詞(句)+that+不完全な文>は強調構文の可能性！ ○ <It is[was]+副詞(句・節)+that+完全な文>は強調構文！	錬成テスト②

令和6年度 高校1年（特進） シラバス

□授業計画	月	単 元・項 目	内 容	備 考
	10	⑧関係代名詞の用法を見ぬく(1) ⑨関係代名詞の用法を見ぬく(2) <i>New Rays English Communication I</i> Chapter 7 Human Habitation on Mars Chapter 8 A Loving Story	○ <名詞+前置詞+関係代名詞>で1つのカタマリをつくることもある！ ○ <先行詞+前置詞+関係代名詞>を副詞的に訳すと、自然な場合がある！ ○ 関係代名詞の直前にある名詞(句)が先行詞とはかぎらない！ ○ 関係代名詞や疑問詞(+～)の直後のI thinkなどは、挿入と考えよう！ ◎ 探索の力 ◎ 愛の力	定期テスト③ 実力テスト②
	11	<i>Clues to Reading</i> ⑩分詞構文を見ぬく ⑪比較を見ぬく ⑫省略を見ぬく	○ 文頭・文末などに置かれた分詞構文を見ぬこう！ ○ 前にwithのついた独立分詞構文を見ぬこう！ ○ thanのあとの倒置は、「主語と主語」の比較！ ○ 文末に置かれない比較対象(than…)に注意しよう！ ○ 省略表現は、前文や文の前半から「元の形」を考えよう！ ○ 比較対象(than…やas…)の省略に注意しよう！	
	12		2学期の総復習	定期テスト④
	1	<i>New Rays English Communication I</i> Chapter 9 Edo, the Resilient City Chapter 10 A Quality Education for All	◎ 探索の力 ◎ 愛の力	錬成テスト③
	2	<i>Clues to Reading</i> ⑬倒置を見ぬく ⑭名詞構文を見ぬく ⑮仮定法を見ぬく	○ 副詞句/Cのあとに<V+S>が続けば、<S+V+副詞句/C>の倒置形！ ○ 否定を表す副詞(句)のあとに続く文は、「疑問文と同じ語順」の倒置形！ ○ 動詞の名詞形は、元の動詞に戻して考えてみよう！ ○ 形容詞の名詞形は、元の形容詞に戻して考えてみよう！ ○ 仮定法の文中に倒置形がある場合は、ifの省略を考えよう！ ○ if-節のない仮定法を見ぬこう！	日大チャレンジ模試 定期テスト⑤
	3		3学期の総復習	

令和6年度 高校1年（特進） シラバス

□科 目	論理・表現 I			
□授業時数	2時間／週			
□教 材	EARTHRISE English Logic and Expression I（数研出版），EARTHRISE English Grammar in 33 Stages（数研出版），Workbook for EARTHRISE English Grammar in 33 Stages（数研出版），EARTHRISE 総合英語（数研出版）			
□学習到達目標	◎4技能（Listening, Speaking, Reading, Writing）の習得を図る。 <Speaking> - 英語の複雑な問いに英語で答え、アウトプットを試みることができる。※主語・動詞のある文で答える。 - 外国人と積極的にコミュニケーションを図れる態度、語彙力を身につけることができる。 <Listening> - 生活習慣や興味関心事に関して、英語で受け答えができる。 - 外国人と積極的にコミュニケーションを図れる態度、語彙力を身につけ、自己表現をすることができる。 <Writing> - 生活習慣や興味関心事について、英語で表現ができる。 - 自己表現を可能にする適切な語彙を選び、外国人に適切な文章を書けることができる。 ※100-200語程度の英文で自分の意見を述べる（英検2級レベル）。 <Reading> - 英語の長文から、情報を取得することができる。 - その取得した情報から、的確に英語でアウトプットができる。 ※400語程度の長文を読むことができる（英検2級レベル）			
□成績評価基準	定期テスト・小テスト・提出物、および授業中の積極性を総合的に判断し評価する。			
□授業計画	月	単 元・項 目	内 容	備 考
	4	1 文の組み立て方(1) 2 文の組み立て方(2) 3 動詞と時の表し方①—(1) 4 動詞と時の表し方①—(2)	(1) 文の基本となるもの(文の主要素) (2) 文型 (1) 現在のことを表す (2) 過去のことを表す (3) 未来のことを表す	スタディサプリ [新版]高1・高2 ハイレベル英語 第1～3講 第4～5講 練成テスト① 基礎学力到達度テスト
	5	5 動詞と時の表し方②—完了形(1) 6 動詞と時の表し方②—完了形(2) 7 助動詞(1) 8 助動詞(2) 9 助動詞(3)	(1) 現在完了形<have[has]+過去分詞> (2) 過去完了形<had+過去分詞> (1) can, may, must (2) should, had better, will, would (3) 勧誘・提案・申し出を表す ていねいな依頼・勧誘・願望などを表す (4) used to/need (5) 助動詞+have+過去分詞	第6～7講 定期テスト① 実力テスト①
	6	10 受動態(1) 11 受動態(2)	(1) 受動態 (2) 受動態のいろいろな形 (3) 受動態の表現と前置詞 (4) 注意すべき受動態	第8講
	7		1学期の総復習	定期テスト②
	9	12 不定詞(1) 13 不定詞(2) 14 不定詞(3) 15 不定詞(4)	(1) 不定詞<to+動詞の原形>の基本的な用法 (2) 不定詞の意味上の主語 (3) 原形不定詞の用法 (4) 不定詞の進行形・受動態、不定詞の完了形 (5) 不定詞を使った慣用表現	第9～11講 練成テスト②

令和6年度 高校1年（特進） シラバス

□授業計画	月	単 元・項 目	内 容	備 考
	10	16 動名詞(1) 17 動名詞(2)	(1) 動名詞<doing>の基本的な用法 (2) 動名詞だけを目的語とする動詞 不定詞だけを目的語とする動詞 動名詞と不定詞の両方を目的語とする動詞 (3) 動名詞の意味上の主語を示す 動名詞の否定形・受動態・完了形 (4) 動名詞を使った慣用表現	第12講
		18 分詞(1)	(1) 分詞の形容詞的用法 分詞で名詞を説明する, 分詞を補語として使う	第13講
		19 分詞(2)	(2) 分詞構文の形と働き, 分詞構文が表す意味	第14講
		20 分詞(3)	分詞構文のいろいろな形, 慣用的に使う分詞構文 (3) 分詞の意味上の主語を表す場合・<with+0+分詞>	定期テスト③ 実力テスト②
	11	21 関係詞(1) 22 関係詞(2) 23 関係詞(3) 24 関係詞(4)	(1) 関係代名詞 (2) 関係代名詞のwhat (3) 関係代名詞の非制限用法 (4) 関係副詞 (5) 複合関係詞	第18～20講
		25 比較(1)	(1) 形容詞・副詞の比較変化 (2) 原級を使った表現 (3) 比較級を使った表現	第21～22講
		26 比較(2)	(4) 最上級を使った表現	
		27 比較(3)	(5) 原級を含む慣用表現, 比較級を含む慣用表現, 最上級の内容を表す原級・比較級	
	12		2学期の総復習	定期テスト④
	1	28 仮定法(1) 29 仮定法(2)	(1) 仮定法過去 (2) 仮定法過去完了 (3) 願望を表す用法 (4) If S should ～とIf S were to ～ (5) 仮定法の慣用表現 (6) if節に代わる表現	第16～17講
		30 話法	(1) 時制の一致のルール (2) 話法	錬成テスト③
	2	31 否定	(1) さまざまな否定語 (2) 準否定語 (3) 部分否定 (4) その他の否定表現	日大チャレンジ模試 定期テスト⑤
		32 さまざまな表現(1)	(1) 語句をつけ加えることによる強調 (2) 強調構文 (3) 倒置表現 (4) 省略表現/(5)同格表現	
		33 さまざまな表現(2)	(6) 無生物主語の文 (7) 名詞を中心とした表現(名詞構文)	
	3		3学期の総復習	